

平成30年度 長野幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

—よく遊びふれあい学ぶ主体的で逞しい子の育成をめざして—

「にっこりあいさつ わくわくトライ しゃきつとそろえる はだしマン」

2. 本年度の重点目標

- ・遊び、体験・生活を通して子どもの知力・徳力・体力の伸長を図る。
- ・気づき考え主体的に活動し友と学ぶことができる子。 —ひとりでできる みんなとできる—

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

2. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・先生方が丁寧に保育をしてくれている。知人に聞いても園の評判はよい。
- ・働き方改革のなか時間的に厳しいと思うが頑張ってもらいたい。
- ・築山、スロープなど遊びの幅が広がっている。危ないから禁止は必要ないと思う。
- ・お茶のみサロンなど地域・学校との交流がありがたい。
- ・主体的な活動がはじまり作品に子どもの個性が見られる。ただ担任によって差がある。困っている子への支援・援助をしっかりと、子どもが楽しく活動できるよう心掛けてほしい。
- ・家庭で不要になった絵本、玩具を寄付したい人がいる。対応してほしい。
- ・近いので県立大学との連携をしていくことがよいのではないかな。
- ・送迎用駐車場が凸凹して水たまりがある。舗装してほしい。

3. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・職員の主体的保育への取り組み姿勢をはじめ概ねよい評価をいただいた。
- ・子どもの主体的活動をめざし、園内研修で一人1公開を実施した。さらに資質の向上をめざした研究・研修と自己研鑽に努める職員集団をめざしたい。
- ・昨年同様「日々の保育の振り返りと課題を明確にする」がB評価。1日の振り返りと記録を徹底したい。
- ・園外保育目的の系統性の見直しを継続し、明確なねらいのもと確実な評価を行う。
- ・年長児が自分たちで企画・運営する集会を継続する。（縦割り活動 餅つき会 クリスマス会 まめまき会 ひなまつり お別れ会）